

## 「第18回<sup>もり</sup>森林を考える岡山県民のつどい」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 中国四国整備局

中国四国整備局は、平成29年10月28日（土）に、岡山県津山市大田のグリーンヒルズ津山において開催された「第18回<sup>もり</sup>森林を考える岡山県民のつどい」に参加しました。

当日は台風22号の影響もあり、朝から雨模様の天候となりましたが、それでも林業関係者や多くの家族連れなどを含む約3,000人の来場者があり、多彩なイベントを通して“木”に親しみました。

この催しは、森林・林業を多くの人に知ってもらうことを目的に、毎年この時期に開催され、今年で18回目となります。

会場には美<sup>みまさか</sup>作産材などを使って来場者がCDラックなどの木工品を作ったり、蔓<sup>かずら</sup>でかごを編むコーナーや、地元高校生が地域の食材を活かしたフードやおかしなどをふるまうコーナーなどが出展されました。

中国四国整備局では、林木育種センター関西育種場との共同ブースで「ドングリ・松ぼっくり工作コーナー」「木へんのつく漢字クイズコーナー」「丸太切りコーナー」「オリジナルしおりコーナー」を出展し、参加者にはパンフレット等を配付しました。「ドングリ・松ぼっくり工作コーナー」のブースでは、子どもたちが薄く輪切りにしたヒノキにドングリや松ぼっくりをのせてオブジェを作ったり、ドングリに顔を描くなどしてかわいらしい作品を次々と完成させていました。

中国四国整備局は、今後もこのようなイベントを通して、地域の皆様に水源林造成事業への理解を深めていただくための取り組みを行って参りたいと考えています。

「第18回<sup>もり</sup>森林を考える岡山県民のつどい」ブース風景



木のへんのつく漢字ブース（えんじゅ）



オリジナルしおり作成の様子



どんぐり・松ぼっくり工作コーナー①



どんぐり・松ぼっくり工作コーナー②